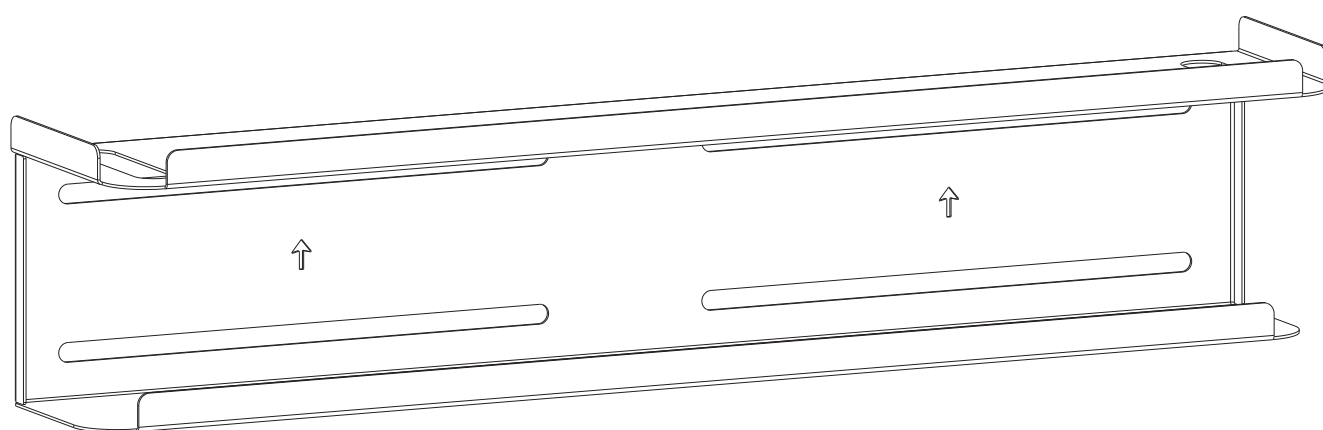


20240520

テレビ裏 / 壁面取付け収納ラック  
使用・取付け説明書

型番  
『LS-BK08』



この度は本商品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。  
設置の前に本説明書をよくお読みのうえ正しく設置・使用してください。



注意

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が障害を負う可能性及び、物的損害の発生が想定される内容を示しています。



禁止の行為である事を告げるものです。



行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。

## 注意



本説明書を無視した組み立て設置や誤った組み立て設置、取付け不良、取付け強度不足、本来の目的外の利用及び、天災などによる事故や破損については、弊社では一切の責任を負いかねますのでご了承ください。



商品自体の不備や不具合にはご対応できますが、お客様の壁や天井の構造・強度については当店では責任が持てない事をご了承ください。お客様ご自身で強度をご確認の上、自己責任にて設置をお願いします。



必要な部品は本説明書通りの手順で全て確実に取付けてください。不備がある場合、落下事故や家屋の破損が発生する恐れがあります。



取付ける壁面の材質や場所によって、壁面の耐荷重が異なります。取付ける場所を確認し、少しでも取付けが困難と思われた場合は中止してください。



一度設置した壁側の穴を再利用しての再設置は避けてください。取付け強度が極端に低下している場合があります危険です。



耐荷重以上の荷物を置かないでください。商品が傾いたり破損する恐れがあり大変危険です。



安定する位置に設置してください。商品が落下して、怪我をする恐れがあります。



変形・破損したまま使用しないでください。倒れたり、荷物が落下して怪我をする恐れがあります。



改造や分解をしないでください。部品の取付けを誤ると、商品が落下して怪我をする恐れがあります。



勢いよく商品の上に物を載せないでください。商品が破損して怪我をする恐れがあります。



火気の近くに置かないでください。やけど、火災の原因になります。



商品設置後は、定期的に固定具合を確認してください。少しでも違和感やぐらつき等があった場合は再度固定していただくか使用を中止してください。



次の場所には、設置をしないでください。

- 石膏ボードのみの場所や砂壁、土壁のような強度の足りない場所、壁、天井
- 振動や衝撃が頻繁にあるような場所及び設置が水平にならないなど不安定な場所
- ぐらつく、傾くなど不安定な場所
- 人がぶら下がったり、寄りかかったりするような場所
- 屋外や海岸、温泉に近い場所、温度・湿度の高い場所
- 動力用電源配線、空調機器、防磁型でないスピーカーに近い場所
- テレビの通気が悪い場所、通風を妨げるような場所
- 開閉するドアの近くなど、日常生活の行動に支障をきたす場所
- 常時人がいる場所の真上など万が一落下した場合に危険性が高まる場所
- その他強く固定ができない不安定な場所や、設置する事で危険性が増す場所など

## 取付け設置時に必要な道具・工具は揃っていますか？

- テレビ裏に取付ける場合：プラスドライバー
- 壁面に取付ける場合：プラスドライバー/ラチェットレンチ（壁面への取付けにあると便利です）/ドリル（下穴用、電動ドライバーと併用できる物ならば尚可です）
- 滑り止め付きの軍手（怪我防止、落下防止に便利です）
- メジャー（設置箇所の計測、水平、垂直の計測に使用します）
- ペン、鉛筆（設置箇所、ネジ穴のマーキングなどに使用します）
- マスキングテープ（水平目安の為にありますと便利です）
- 水平器

## 取付けを始める前にもう一度チェック！

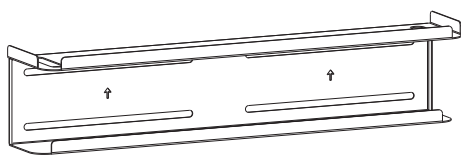
- ✓ 付属部品は揃っているか、取付けに足りない部品は無いかな。
- ✓ 金具に不備はないかどうか、破損などの不良部品・不良箇所は無いかどうか。
- ✓ 取付けを予定している壁の状態を確認してください。
  - 取付ける場所に間柱や補強が入っているか（石膏ボードのみの場所は不可）
  - コンクリートの場合は別途取付け業者に依頼した方が無難です。

## 付属ネジに関して

- テレビ側のネジは、多くのテレビを取付け可能にする為に一般的な長さのものを付属しています。ただし、どうしてもそれらのネジで合わないテレビもある事から、そのような場合はお客様にてホームセンターなどで適切なネジをご用意ください。
- 壁側のビスに関して同梱されているネジは木造の柱や補強のある壁に取付けを行う事を前提としています。

## 付属の部品一覧

※部品の仕様や形状は実際とは多少異なる場合がございます。



a. ラック本体…1個



b. 滑り止めシート…1枚



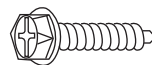
c. M6×10 ボルト  
…2個



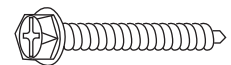
d. M8×16 ボルト  
…2個



e. ワッシャー  
…2個



f. M6×30 六角フランジ  
タッピングビス…2個



g. M6×45 六角フランジ  
タッピングビス…2個

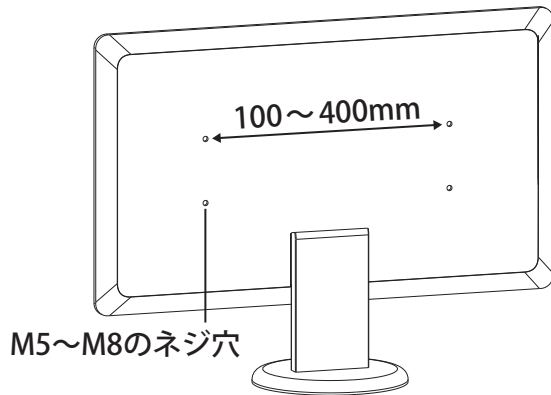
※VESAネジ穴M5用のネジは付属していません。

※多くのテレビに合う一般的な長さのネジ/木造の柱・補強のある壁用のネジが付属しています。万が一付属のネジで合わない場合は、別途ホームセンター等で適切なネジ類をご用意ください。

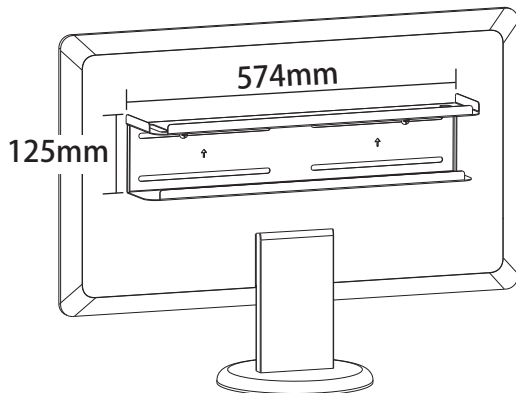
## Step1. 設置条件を確認する

※お取付けの前に、以下の設置条件を確認してください。

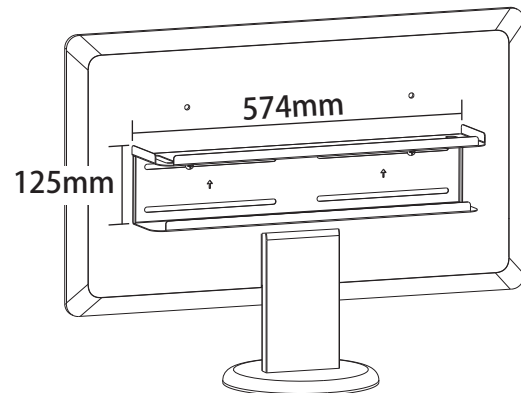
①テレビ背面のネジ穴（VESA規格）が以下の間隔サイズを満たしていること



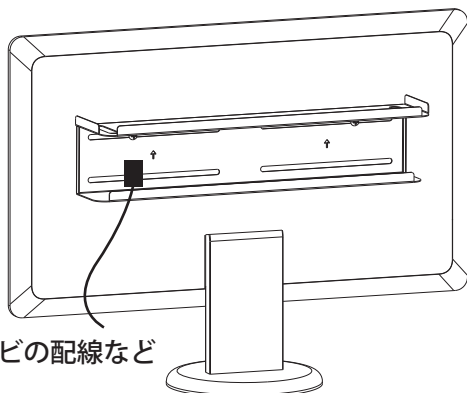
②テレビ背面のネジ穴（VESA規格）の周囲に以下のスペースを確保できること  
また、設置スペース内に突起したテレビ配線などがないこと



ラックはネジ穴（VESA規格）の  
上下どちらの列にも取付け可能です

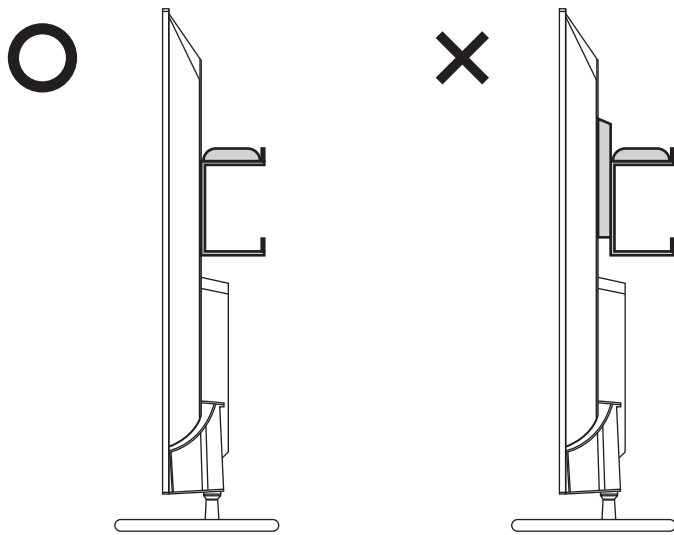


ラック本体とテレビ配線が干渉する場合は  
本商品を取付けることはできません



※テレビの配線など

③本商品とテレビ背面との間がテレビ背面の凹凸などにより隙間が発生しないこと  
 (幅574mm、高さ111mmの範囲内に隙間が生じないこと)



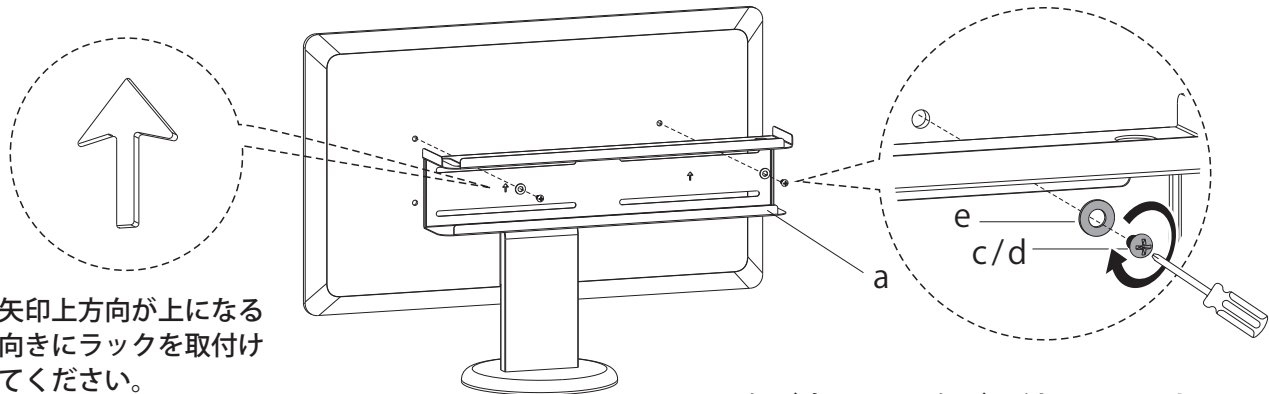
ラック本体の取付け範囲に  
 凸凹があると取付けできません

Step 2 - ①. ラックの取付け ～テレビ裏に取付ける場合～

【1.】テレビ裏にラックを取付ける

下図を参考に、テレビ背面に開いている金具取付けネジ穴に▼ラック本体(a)を▼ボルト(c/d)、▼ワッシャー(e)を使って取付けます。ボルトはネジ穴サイズに合ったサイズを使用してください。  
 [→Step 3.へ進む]

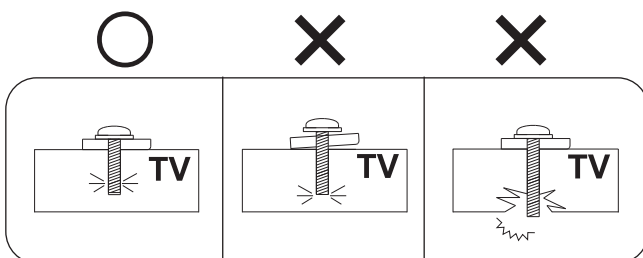
❗ 本体ラックの下側の穴は使用しないでください。



矢印上方向が上になる  
 向きにラックを取付け  
 てください。

※VESAネジ穴M5用のネジは付属していません。

❗ 最適なサイズのボルトを使用



## Step 2 - ②. ラックの取付け ～補強壁 / 間柱に取付ける場合～

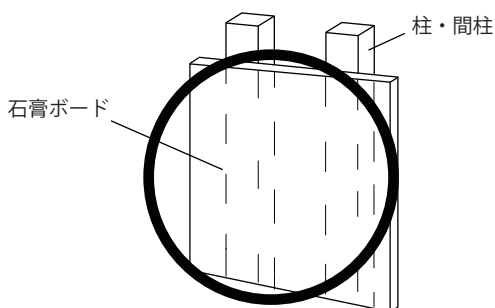
### ⚠️ 注意 取付け前に必ずお読みください！

❗ ご自身での設置作業は自己責任での設置となります。壁面への取付け不備による事故や損害に関しては一切の保証がございませんので、取付けを行う際は十分に確認し、安全性を考慮したうえで作業を行ってください。

❗ 取付ける壁面によって壁側の耐荷重が異なります。設置する壁面は総荷重に長期間十分に耐え、地震や想定される外力に十分耐える場所に取付けてください。

#### ❗ 石膏ボードの裏側に柱や間柱がある場合

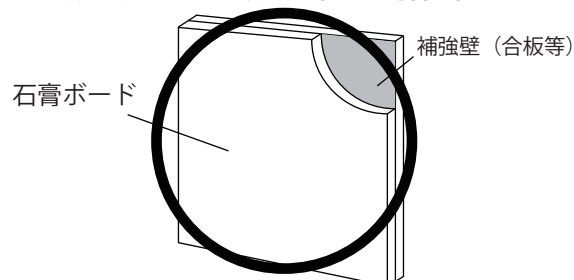
間柱センサーなどで石膏ボードの裏にある柱・間柱を探し、柱の中央にネジを止めるように取付けを行ってください。



#### ❗ 石膏ボードの裏側（表側）に補強が入っている場合

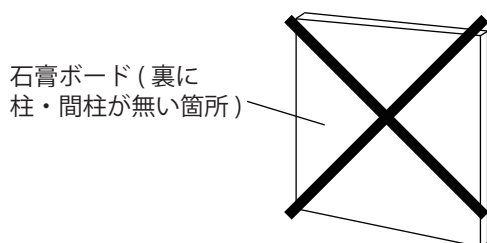
別途合板等で補強を入れてある場合、その部分に取付けが可能です。

補強用の合板等は **12mm 以上の厚み** の場合に限りです。



#### ⊘ 石膏ボードのみの場所を取付けを行う場合

石膏ボードのみの場所への取付けは出来ません。石膏ボード自体の強度が弱く、取付けを行った場合に壁ごと破損、落下する恐れがあります。



#### ❗ 壁がコンクリートやレンガの場合 鉄筋の柱へ取付けを行う場合

コンクリートへの設置や鉄筋への取付けは、DIY が得意な方でも大変困難な作業となります。コンクリートやレンガの壁への取付け工事・鉄筋への取付け工事は専門業者へご依頼ください。説明も記載をしております。

#### ❗ テレビボードへ取付けを行う場合

家具屋などで販売しているテレビボードへの取付けは弊社ではテレビボードの情報を持ち合わせていない為、テレビボードの販売店に板厚や対応しているか等の情報を得た上で、自己責任でのお取付けとなります。その場合、別途適切な壁側のビス等をご用意ください。

#### ⊘ 砂壁・土壁の場合

砂壁や土壁の場合は、石膏ボード同様強度が弱くお取付けができません。内装業者・電設業者などに依頼し、別途壁に補強工事を行う必要がございます。そのまま取付けを行った場合は壁ごと破損、落下する恐れがある為絶対にお止めください。

### 補強壁に取付ける場合

❗ 補強用の合板等は **12mm 以上の厚み** の場合に限りです。

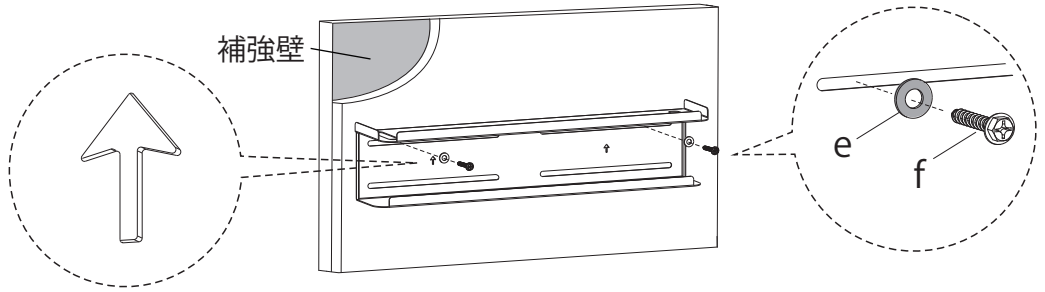
#### 【1. 取付ける位置を確認し、ラックを取付ける】

- ▼ラック本体 (a) を壁に合わせてどこに取付けるかを決めてください。必ず補強壁の部分にビスが打ち込める位置にしてください。
- 取付け位置が決まったら、次ページの図を参考に ▼M6×30 六角フランジタッピングビス (f)、▼ワッシャー (e) を使用して ▼ラック本体 (a) を壁に取付けます。[→Step 3. へ進む]



本体ラックの下側の穴は使用しないでください。

矢印上方向が上になる向きにラックを取付けてください。



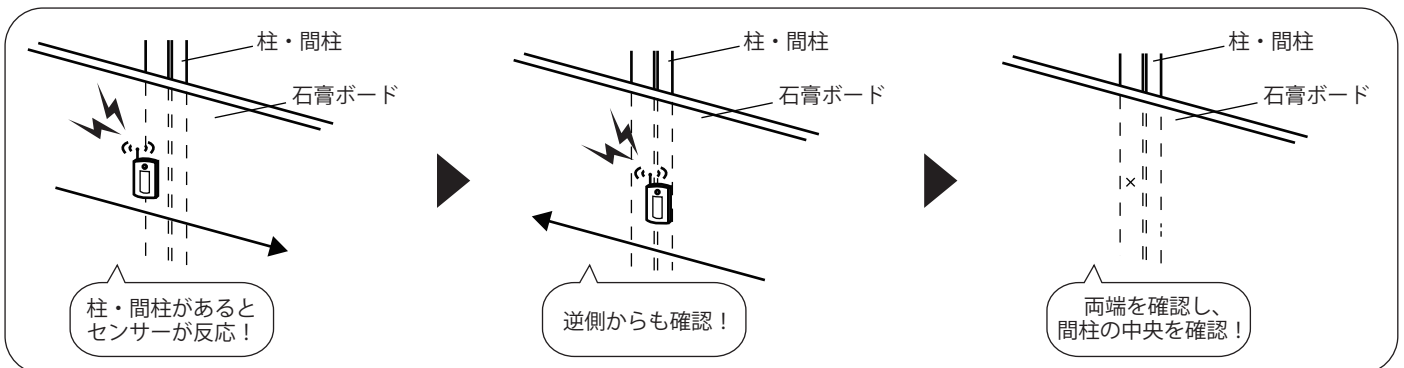
## 間柱に取付ける場合

### 間柱に取付ける際の、間柱の見つけ方

- 一般的な方法として、「間柱センサー」や「探知針」を使って間柱を見つける方法があります。「間柱センサー」は電気信号で見つけるタイプ、「探知針」は細い針を刺すタイプがあります。設置する場所に目星をつけ間柱センサーや探知針で調べていきます。
- 間柱を見つけたら目印をつけ、間柱の中央付近を確認しましょう。最初に見つけた場所が間柱の端だった場合、ネジが効かなかったり間柱が割れてしまう可能性がありますので、間柱の中央付近をしっかりと確認して確実にネジを打てる場所を見つけてください。

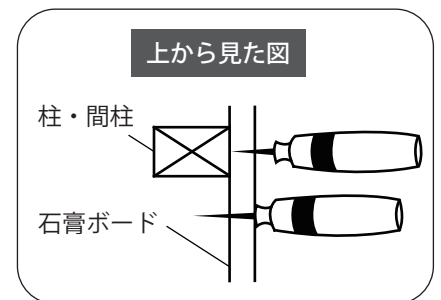
### 間柱センサーを使用する場合

- 片側から壁をなぞるように数回調べます。センサーの鳴り始めが間柱の端になりますのでその部分に印を付けます。
- 逆側からも同じ様に間柱の逆端を調べ、2点の中間＝間柱の中央に目印を付けてください。
- センサーには1cm~2cm程の誤差が出る場合があるので、必ず左右の中央に目印を付けるようにしてください。



### 間柱探知針を使用する場合

- 取付けを行う位置に柱があるかどうかを確認するために、平行に数か所に針を刺します。
- 刺すタイプは、間柱がないと手ごたえがなく針が奥まで入ります。針が止まると柱や間柱がある場所です。(仕様はメーカーによって異なります)
- 刺す場所は1箇所ですらなく、数か所刺して間柱の中央を探し印を付けてください。



### 間柱センサーや探知針をお持ちでない場合

間柱センサーや間柱探知針はホームセンターやインターネットで多数の種類が販売されています。

また、弊社ホームページでも販売しています。

※時期や在庫状況などによって、弊社で販売している種類が異なったり、販売を一時中止している場合がございます。

### 上記の方法でも柱・間柱が確認できない場合

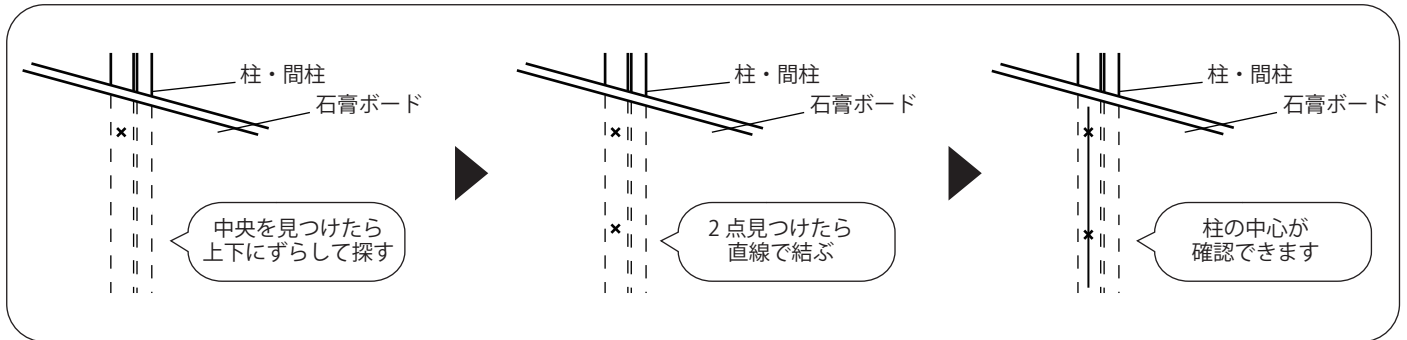
間柱センサーや探知針を使用しても柱・間柱の立っている箇所が見つからない場合、GL工法など別の構造の場合があります。確認しても見つからない場合は、決して作業を続行せず専門業者にご相談・ご依頼ください。

### 正確な使用方法に関して

上記で説明している方法は簡易的な説明でございます。詳しい使用方法はメーカー取扱い説明書をご確認ください。

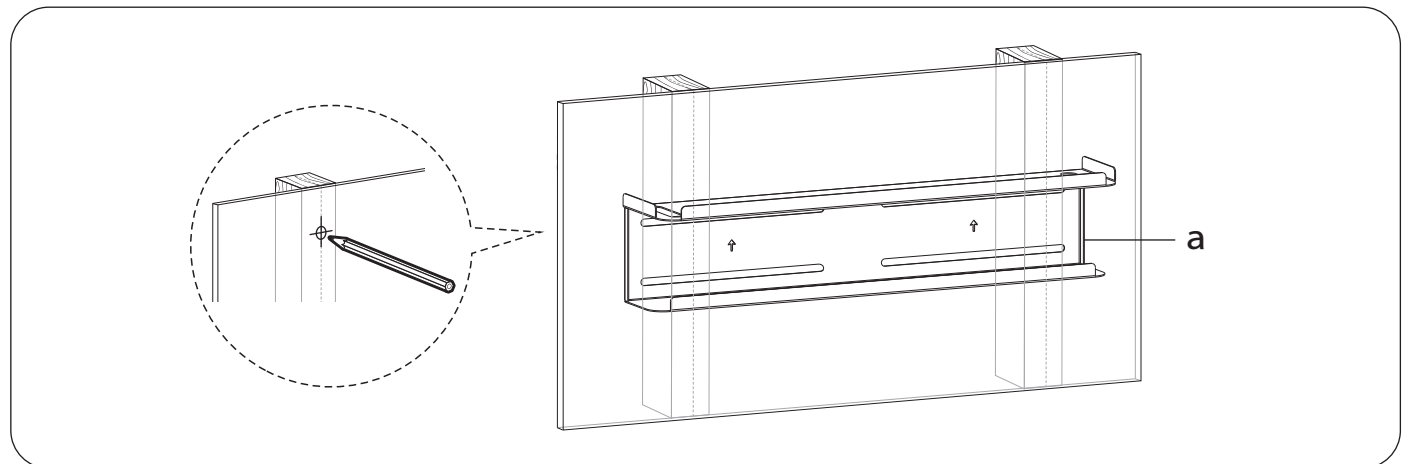
### 【1. 間柱の中央を見つけ、印をつける】

- 5 ページを参考に、壁の裏側にある間柱の場所をセンサーなどで探して印をつけてください。
- 間柱の中央が見つかったら探す位置を上下にずらしてまた中央を見つけてください。その2点を直線で結べば、間柱の中心線を描く事が出来ます。



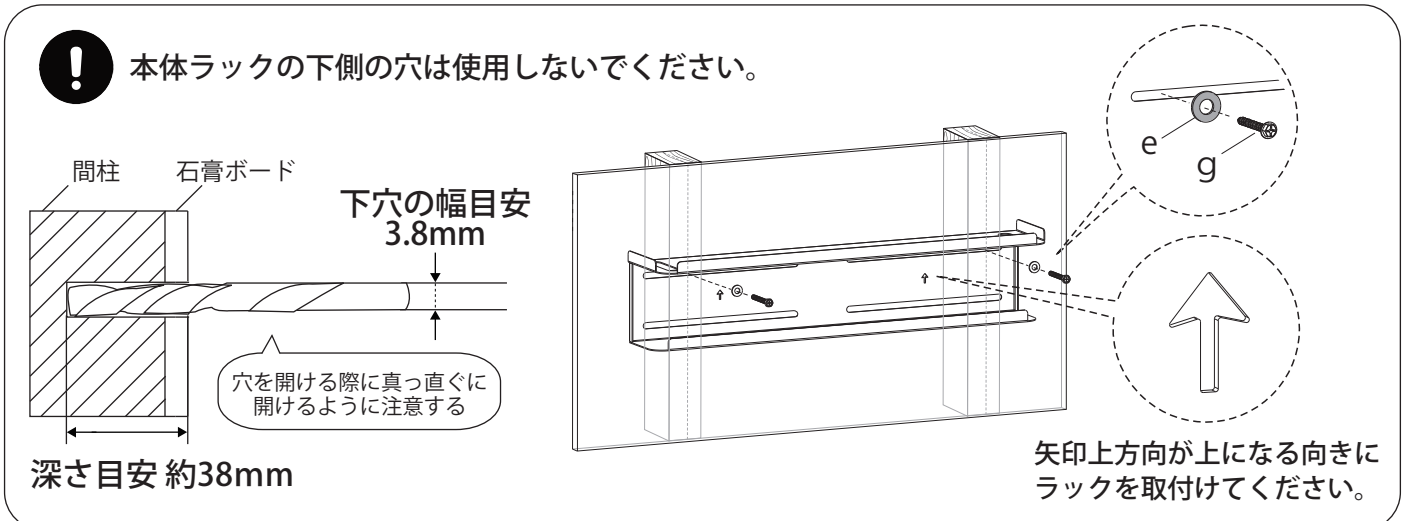
### 【2. 下穴を開ける位置を確認し、印をつける】

- ▼ラック本体 (a) を壁に合わせてどこに取付けるかを決め、ビスを打ち込む位置2点に印を付けます。必ず間柱の中央にビスが打ち込める位置にしてください。



### 【3. 印に下穴を開けてラックを取付ける】

- 2. でつけた印の箇所にドリルを使用して下穴を開けます。ズレないように十分に気を付けて作業を行ってください。電動ドリルがあるとスムーズに作業が進みます。
- 全ての穴を開けたら、▼M6×45 六角フランジタッピングビス (g)、▼ワッシャー (e) を使用して▼ラック本体 (a) を壁に取付けます。[→Step 3へ進む]



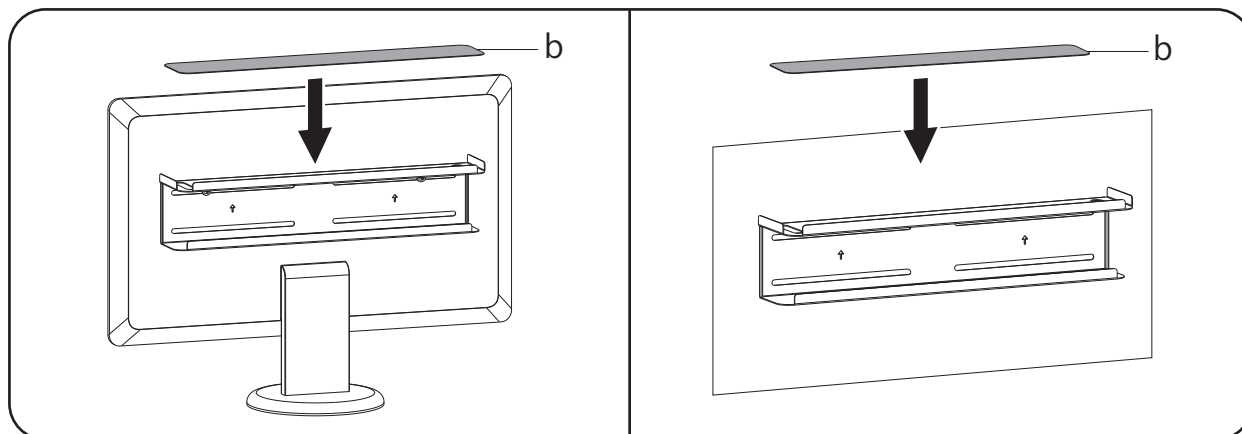
※下穴の幅及び深さの目安は付属のタッピングビスを使用した場合の数値です。  
別途ビス類をご用意された場合は用意したビス類に応じて適切な大きさの下穴を開けてください。



### Step 3. 滑り止めシートを敷く

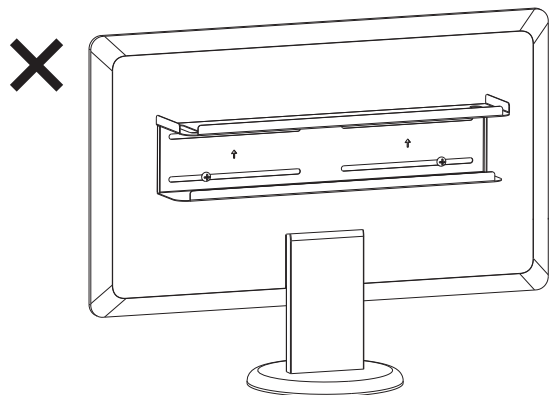
【1.】▼滑り止めシート (b) の保護フィルムを剥がして▼ラック本体 (a) に敷きます。

●積載物の落下などを防ぐために付属の滑り止めシートの使用を推奨します。滑り止めシートは下図のように、ラック上部に敷いてください。

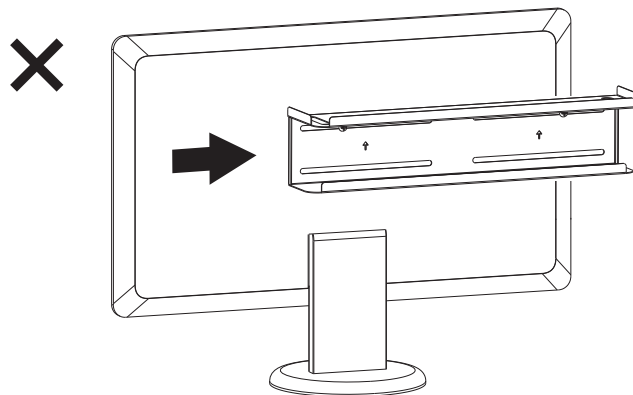


### Step 4. 使用上の注意

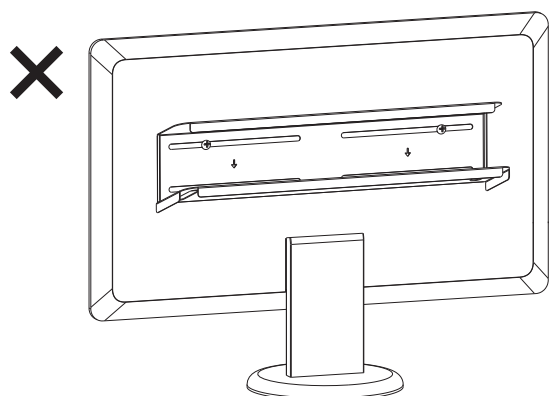
以下のような使用はしないでください。



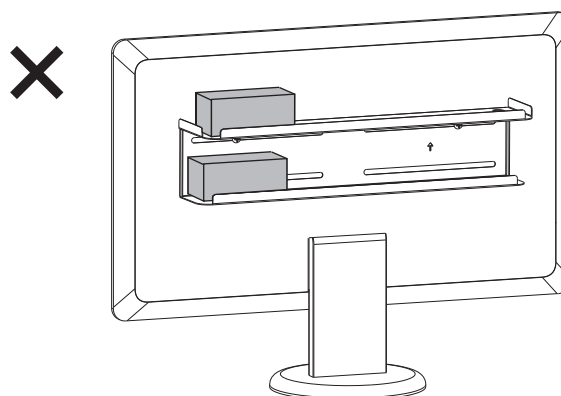
ラック下部の穴で固定する



左右が均等でない位置での取付け



上下反転での取付け



左右が偏った積載方法

### Step 5. 最終確認

- ☑ 各取付け部分およびボルトやネジ・ナットの緩み、ガタつきがないかを確認してください。緩みが確認できた際は増し締めをしっかりと行ってください。少しでもガタつきや、違和感があった際には取付けを中止してください。また、この確認作業は定期的に（3ヶ月～半年に1回程度）実施し、問題なく使用できていることを確認してください。
- ☑ 経年使用による落下が無いように注意をして使用してください。

## **エモーションズ株式会社**

〒214-0032

神奈川県川崎市多摩区枡形 2-1-17 岩本ビル 4F

店舗名：エース・オブ・パーツ /KABEYA

TEL : 044-455-4728

MAIL : [info@emotions.co.jp](mailto:info@emotions.co.jp)